

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E112K007		体育実技 (水泳) (Physical Education Practice)							対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態								
必修	1	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用		他	日本語		単独								
担当教員	氏名 陶山俊介 (非常勤講師) 対応教員は内倉。 E-mail ssuyama@bm.mizobe.ac.jp 内線 7630															
授業の概要	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの四泳法の技術、各泳法に応じたスタートやターン、呼吸の仕方についてについて学び、技能を身に付ける。また、体育授業における水泳系内容の指導法と安全管理についても学習する。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	クロール、平泳ぎについてコンビネーションよく泳ぐことができる。															
目標2	背泳ぎ、バタフライについて泳ぐことができる。															
目標3	各泳法に応じたスタート、ターンをすることができる。															
目標4	各泳法のルールについて示すことができる。															
目標5	安全管理について説明できるとともに、安全に配慮して活動することができる。															
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							6	2		2						
授業の内容																
1	保健体育科学習指導要領における水泳の概要															
2	各泳法の基本的なルール、水泳授業の進め方															
3	プールの安全管理及び事故防止															
4	クロールのキック															
5	クロールのブル															
6	クロールのコンビネーション															
7	クロールのスタート、ターン															
8	平泳ぎのキック															
9	平泳ぎのブル															
10	平泳ぎのコンビネーション															
11	平泳ぎのスタート、ターン															
12	背泳ぎのブル、キック															
13	背泳ぎのスタート、ターン、呼吸															
14	バタフライのブル、キック															
15	バタフライのスタート、ターン、呼吸															
ラーニング	A:知識の定着・確認	なし				工夫	その他の	なし								
	B:意見の表現・交換															
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	集中講義のため、各日の活動前に事前予習を課す(30H)														
	事後学修	集中講義のため、各日の活動後の復習課題(振り返り)を課す(15H)														
	想定時間合計	45														
教科書	日本水泳連盟編、『水泳指導教本』改訂版、大修館書店 文部科学省、『水泳指導の手引』、日本文教出版															
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』、平成29年 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編』、平成30年															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	実技テスト	40%										
	実技テスト	40%										
	小レポート	20%										
注意事項	水泳に必要な道具を準備すること											
備考	なし											
リンク	なし											
	URL											